弥生時代から古墳時代

―論点―

2021.1.27

HB1

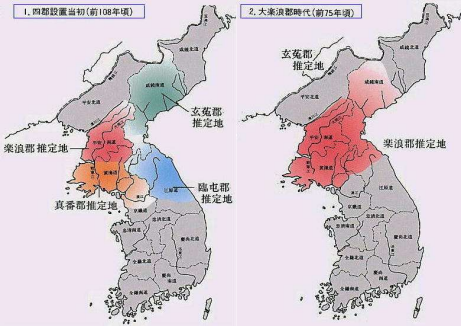
1．国際情勢(大陸・半島の動向)との関係

論点１：大陸(半島)との関係

○半島へ流民・難民流入が列島に波及(渡来民)
○大陸王朝に状続的に遣使−先進的文化の吸収を目的

☆遣使の主目的は、「倭人(国)」に対する政治的・軍事的圧力への対応？

漢	楽浪郡	倭国王・帥升	(金印)
	公孫氏		
魏(司馬懿)	帯方郡	倭国王・卑弥呼	親魏倭王(金印)
晋		倭国王・台与	
五胡十六国・南北朝	高句麗(好太王)	倭の五王	安東将軍



Z67. 3世紀末の朝鮮半島勢力図

2.小国家の形成・倭国登場(～2C)

論点2-1:高地性集落

○通説:**複合的施設？**-存在期間は**数百年(断続的？)に及ぶ**

○(**特に北九州**)稲作による人口増、抗争激化、統合加速(環濠集落、受傷人骨)

☆東方(大和)には豊富な農耕用適地？

☆西方からの過剰人口・食糧不足を背景の波状的集団移住への対抗施設？

☆『記紀』の「饒速日天下り」「神武東征」の背景か？

弥生時代末期の近畿の様子

論点2-2:「倭国乱」

○通説:漢帝国崩壊による後盾・権威の喪失と鉄・通商権の争奪

＋

○大噴火(AD181タウポ火山)による世界的寒冷化・飢饉・混乱(漢・ローマ崩壊)

○『魏志』「倭国乱」の時期と地理的範囲−文理解釈上は北九州周辺

「女王國東渡海千餘里復有國皆倭種:女王國の東、海を渡ること千余里、また國あり、皆倭種なり」

☆「倭国乱(倭国)」の地理的範囲？

☆「倭国乱」の原因・背景？

☆高地性集落、「神武東征」等との関係？

論点2-4：銅鐸

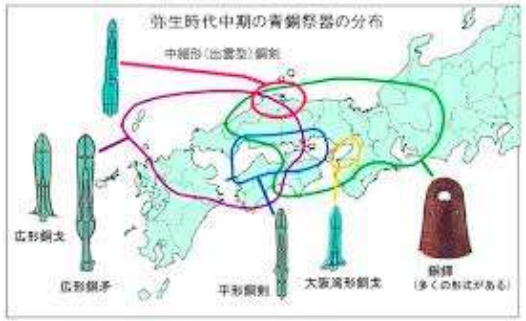
〇通説：起源は半島の鈴（cowbell）

〇出雲～近畿～中部に銅鐸圏(祭祀、祭具)

〇**纒向建設前後、**一斉に消滅(破棄・埋納)、前方後円墳出現

☆起源は江南の祭祀用楽器(編鐘)？

☆一斉消滅の経緯・理由と大和王権成立の関係?



出典：寺沢薫「王権の誕生」に基づき作成

出典：寺沢薫「王権誕生」に基づき作成

編鐘：曾侯乙墓(湖北省BC５)

楚・編鐘(湖北省BC4-3C)

青磁器の鐸：越の貴族墓

3. 大和王権

論点3-1：纒向の状況

〇纒向建設に諸国が関与(九州は例外的)

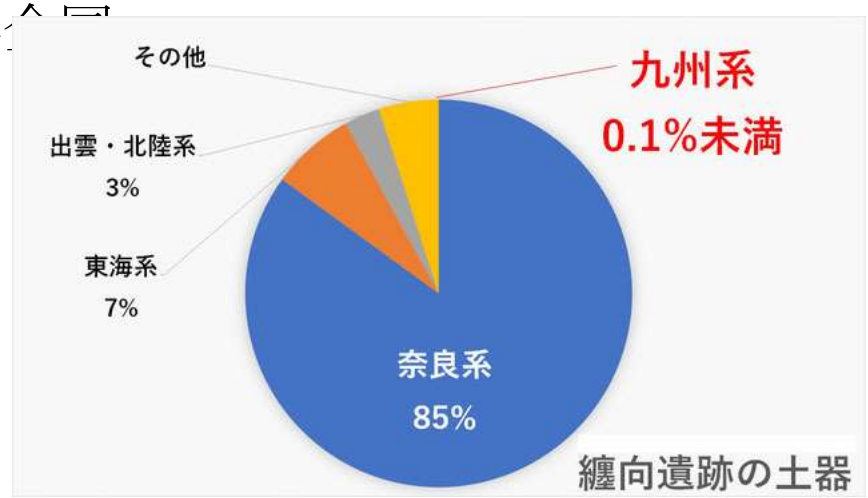
〇銅鏡祭祀(北九州系)を継承、銅鐸廃棄

〇銅鏡・帆立貝型(纒向型)前方後円墳

〇前方後円墳(箸墓古墳)を統一規格化し全国

〇纒向建設後も北九州より後進的

(鉄器は北九州が圧倒的に凌駕)



☆唐古・鍵、纒向と大和王権の関係？

☆纒向と出雲、北九州との関係？

☆国譲り、神武東征との関係

纒向遺跡から出土した土器の地方別割合

論点3-2：北九州との関係

○「倭国乱」「倭国・邪馬台国」

○大和王権は銅鏡祭祀(北九州系)

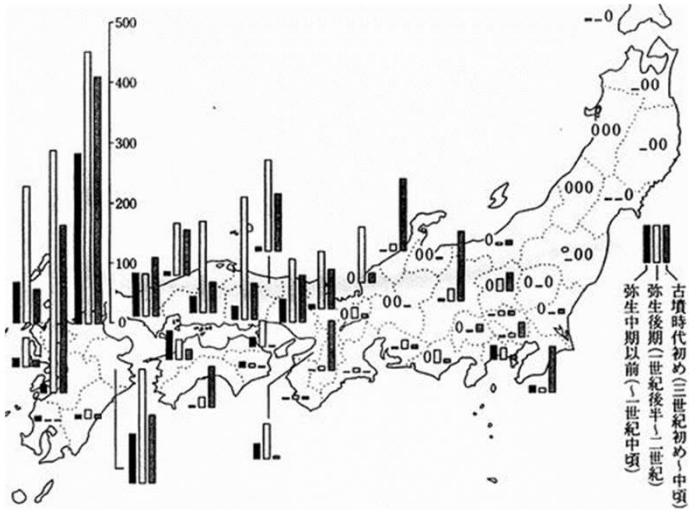
○大和王権成立後も隆盛(鉄は凌駕)

○『記紀』(景行天皇～仲哀天皇・神功皇后による九州征圧)

☆大和王権と北九州勢力との関係？
　（九州王朝説？）

☆倭国・邪馬台国との関係？

☆『記紀』との関係?



寺沢薫氏

論点3-3：出雲との関係

○DNA解析(進展中)

○畿内に、出雲系の残影(アクセント、大神神社、出雲由来地名)

○銅鐸(出雲系)の放棄と同時期に銅鏡(北九州系)祭祀へ転換

○大和王権は銅鐸祭祀の継承なし

○『記紀』(神話・伝承(国造り・国譲り、崇神紀)

☆出雲系と北九州系の関係(DNAの異同)？

☆大和の主導権が出雲系から北九州系へ交代(委譲)？

☆ヤマト王権成立後の出雲系の動向？

☆『記紀』との関係？

論点3-4：半島との関係

○「倭人・倭国」が数百年に亘り軍事行動(好太王碑文等)
○半島南部に前方後円墳等の存在(約20基)
○「倭の五王」「倭王武上表文」(大陸史書)
○『記紀』(神功皇后・三韓征伐、七支刀、任那)
○『日本書紀』(欽明天皇の遺言)

☆数百年に亘り半島に関与した理由？鉄の確保(通説)？
☆軍事行動を含め関与し得た理由？
**　ー経済的・軍事的基盤・拠点を確保？**

日本古代史つれづれブログより

光州月桂洞1号墳(韓国光州広域市)

朝鮮半島に残された倭の痕跡　より

論点3-5:大和王権の実像

○通説:大和王権は、遅れた政治体制・**地方勢力の緩やかな連合体**

○通説:「空白の四世紀」

○全国的な巨大前方後円墳の築造＊1と　半島での軍事行動*2　を同時遂行

☆大和王権は、通説よりはるかに強大な軍事・経済力、権力？

＊1:総数　約5000基

墳丘長 120㍍以上125基、200㍍以上37基

仁徳天皇陵 総作業員数:680万人　実働2000人で15年

高句麗重装騎兵:安岳3号墳・黄海南道安岳郡

鉄盾:石上神宮

鉄製甲冑:九州国立博物館